

2013年9月27日

三井海洋開発株式会社
三井物産株式会社
丸紅株式会社
株式会社商船三井

ガーナ沖 T.E.N.油田向け大水深対応 FPSO 備船事業への
三井物産、丸紅及び商船三井の参画、及び融資契約の締結について

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、社長:宮崎俊郎、以下「三井海洋開発」)、三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:飯島彰己、以下「三井物産」)、丸紅株式会社(本社:東京都千代田区、社長:國分文也、以下「丸紅」)及び株式会社商船三井(本社:東京都港区、社長:武藤光一、以下「商船三井」)の4社は、三井海洋開発が推進しているガーナ沖 T.E.N. (Tweneboa, Enyenra, Ntomme)油田向け大水深対応 FPSO(注1)の長期備船事業(以下「本案件」)に、三井物産、丸紅及び商船三井が出資参画し、本日付で本案件に対する融資契約を締結しました。

本案件は、三井海洋開発がオランダに設立済の T.E.N. Ghana MV25 B.V.社(以下「MV25 社」)に三井物産、丸紅及び商船三井が出資参画し、備船先に対して FPSO のリース及び操業・保守サービスを提供するものです。備船先は英国の石油開発会社である Tullow Oil Plc の子会社で、T.E.N.油田のオペレーターである Tullow Ghana Limited 社(以下「Tullow Ghana 社」)であり、MV25 社は同社と10年間(その後1年毎に最大10年の延長オプションあり)の長期備船契約を2013年8月に締結済みです。

本案件に対する融資は、株式会社国際協力銀行(以下「JBIC」)、株式会社三井住友銀行(幹事行)、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、ING Bank N.V.及びABN AMRO Bank N.V.の協調融資によるもので、JBICにとって、ガーナで行なうFPSO事業に対する初のプロジェクトファイナンス案件です。

近年、西アフリカ沖合では新規の大規模油田が次々に発見されており、新規FPSOの需要が期待されます。T.E.N.油田は、ガーナ沖合約60kmに位置しており、オペレーターのTullow Ghana社、Anadarko Petroleum Corporation、ガーナ国営石油会社等の5社のコンソーシアムが保有しております。大型タンカーを改造して建造する本FPSOは、2016年に完工、同鉱区に据え付けられ、水深約1,500mの海底油田の開発に用いられる予定です。

注1) Floating Production, Storage & Offloading System: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備

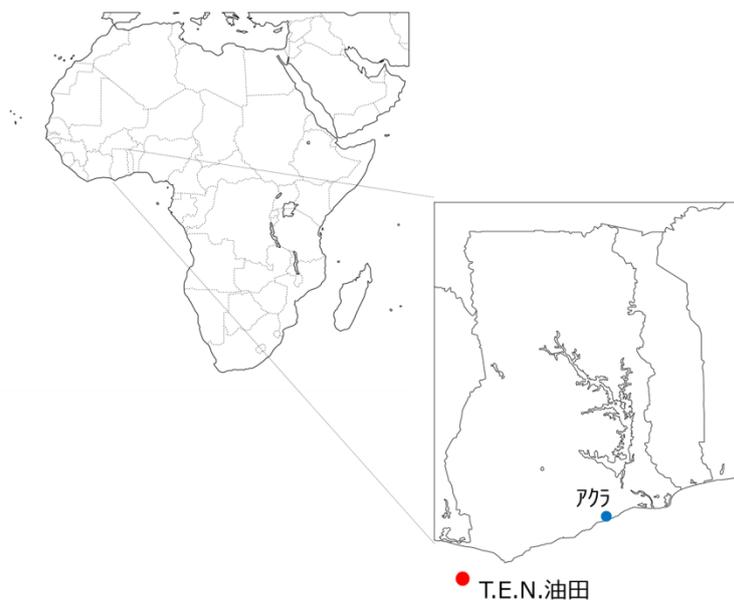
FPSO 概要

原油生産能力	8 万バレル／日
ガス生産能力	170 百万立方フィート／日
原油貯蔵能力	170 万バレル
係留方式	エクスターナル・タレット・ムアリング(水深約 1,500 メートル)

出資比率

	出資比率
三井海洋開発株式会社	25.0%
三井物産株式会社	30.0%
丸紅株式会社	25.0%
株式会社商船三井	20.0%

地図



<各社問い合わせ先>

■三井海洋開発株式会社 総務部

TEL : 03-5290-1200 FAX : 03-5290-1505

■三井物産株式会社 広報部 報道室

TEL : 03-3285-7596 FAX : 03-3285-9819

■丸紅株式会社 広報部

TEL : 03-3282-4260 FAX : 03-3282-2331

■株式会社商船三井 LNG 船部 海洋事業室

TEL : 03-3587-6239 FAX : 03-3587-7748